

医療連携に必要な知識と技術

看取り期の高齢者のみならず要介護高齢者の質の高い生活を支えるためには、介護職の取り組みはもちろんのこと、医療との連携を図ることが極めて重要になっています。

医療職との円滑な連携を図るためには、連携に必要な共通言語としての基本的な医療に関する知識（高齢者の心身・疾病の特徴、観察の視点、体調変化と対応方法、薬や看取りの知識等）と技術（他職種との連携のコツ、社会資源の活用の知識）の習得が必要不可欠です。

本研修では、介護職を精力的にバックアップしてきた実績豊富な医療職の視点から医療連携に必要な知識及び技術を学びます。医療職との円滑な連携技術、連携に必要なとされる介護従事者が知っておくべき共通言語等の習得を目的とした実践的なカリキュラムに致しました。

本研修を通して、医療連携の視点を確認・点検し、利用者の生活を支援できる体制整備の一助にしていただければ幸いです。

8月9日 9:30~16:30 受講費 12,000円

ネット配信加入者は半額で受講可

I	連携に必要な視点	各職種の特徴と求められる役割	講師紹介 大瀧厚子先生 保健師・看護師・介護支援専門員 福祉施設士・元特別養護老人ホーム施設長 慶応義塾大学病院の内科病棟に勤務した後、介護老人保健施設の立ち上げ、平成14年に特別養護老人ホームの施設長に就任。現在は独立され、介護職や医療職を対象にターミナルケアや医療に関する講演を全国で展開中。主な著書：『生活の場のターミナルケア』、『介護スタッフのための安心！医学知識』、『介護職のための医学知識ガイドブック』、『ここから始める介護』ほか著書多数。
		連携に必要な「気づき」	
II	連携に役立つ基礎知識	高齢者の病気の特徴	
		観察の視点	
		体調変化とその対応	
		疾患の理解	
		薬の基本	
III	連携の技術	看取り	
		他職種との連携のコツ	
		社会資源の活用	

【受講者の声】 ●まず自分が理解していないと連携は難しいので、今日の講義は大変役に立つと思う ●今まで何も考えずに業務をおこなっていたと実感した ●事例もお話いただき、すんなりと納得できた ●介護職として、医療職に任せきりではいけないと思った ●利用者の変化に気づくための視点を教えてもらえた ●薬について知っていたつもりだったが、初めて聞く事もあり、大変参考になった 他多数

申込方法：電話、ファックスにて受付いたします。締切：全て先着順になります（70名）

問合せ先：お茶の水ケアサービス学院 事務局 TEL：03-3863-4000

受講対象：介護従事者、介護支援専門員、生活相談員、事務職員等

研修会場：国労大阪会館 大阪市北区錦町2-2 天満駅より徒歩5分

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	事業所名	ネット配信加入の有無	有・無
住所	(〒 -)	(事業所・自宅)		
TEL		FAX	e-mail	

※お申し込み後（申込日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。

また、申込日に拘らず7/26以降のキャンセルについては全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。